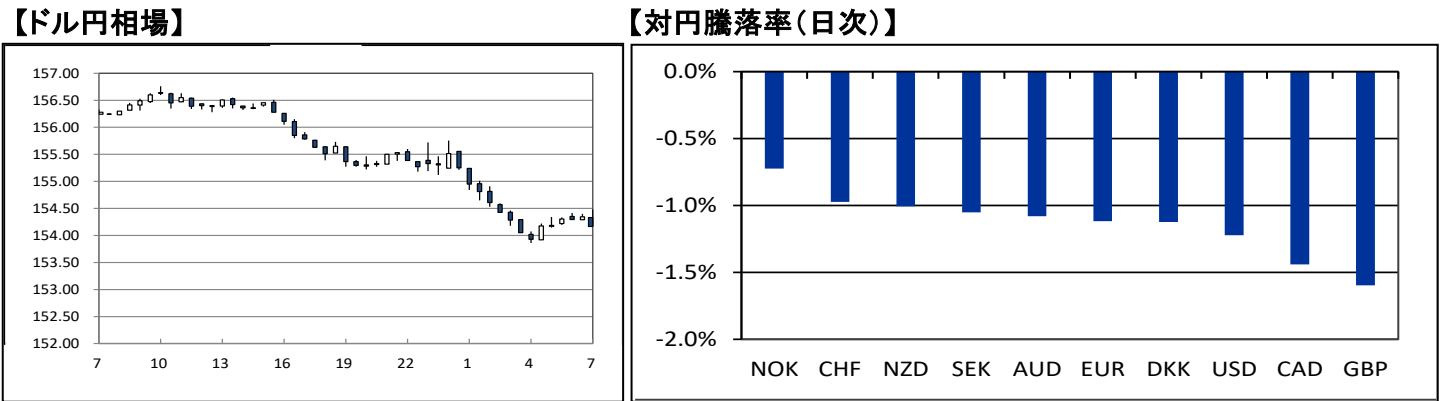


【昨日の市況概要】				公示仲値	156.84
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	156.48	1.0528	164.85	1.2666	0.6456
SYD-NY High	156.76	1.0593	165.03	1.2697	0.6482
SYD-NY Low	153.86	1.0517	162.33	1.2598	0.6443
NY 5:00 PM	154.17	1.0541	162.70	1.2619	0.6465
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,444.99	▲ 305.87	日本2年債	0.5500%	0.0200%
NASDAQ	18,680.12	▲ 427.53	日本10年債	1.0700%	0.0100%
S&P	5,870.62	▲ 78.55	米国2年債	4.3065%	▲0.0500%
日経平均	38,642.91	107.21	米国5年債	4.3112%	▲0.0229%
TOPIX	2,711.64	10.42	米国10年債	4.4444%	▲0.0009%
シカゴ日経先物	38,040.00	▲ 955.00	独10年債	2.3485%	0.0065%
ロンドンFT	8,063.61	▲ 7.58	英10年債	4.4700%	▲0.0115%
DAX	19,210.81	▲ 52.89	豪10年債	4.6440%	▲0.0590%
ハンセン指数	19,426.34	▲ 9.47	USDJPY 1M Vol	10.70%	0.81%
上海総合	3,330.73	▲ 49.11	USDJPY 3M Vol	10.83%	0.23%
NY金	2,570.10	▲ 2.80	USDJPY 6M Vol	10.68%	0.15%
WTI	67.02	▲ 1.68	USDJPY 1M 25RR	▲1.06%	Yen Call Over
CRB指数	279.72	▲ 0.79	EURJPY 3M Vol	9.90%	0.28%
ドルインデックス	106.69	0.01	EURJPY 6M Vol	10.10%	0.20%

東京	東京時間のドル円は156.48レベルでオープン。仲値にかけては五・十日の実需のドル買いを背景に156.76をつけるも、買いが一巡すると小反落。その後は加藤財務相からの円安牽制発言にも反応は鈍く、156円半ばでの方向感が出ない動きが続くと156.28レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、156.28レベルでオープン。午後に米10月小売売上高を控え、前日のパウエル議長による効率的な発言を継いだドル売りが一服すると反発。その後方向感なく推移し、結局155.37レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2676レベルでオープン。英第三四半期GDPが発表され、前期対比で予想を下回り対ユーロで売られる。対ドルでは大きな動きは見せず結局1.2679レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は155.37レベルでオープン。朝方は米10月小売売上高(除自動車)が予想を下回ったものの、前回分が上方修正されたことや、ヘッドラインは予想を上回り、同時に発表の11月NY連銀製造業景気指数も予想を大幅に上回ったことから155.72まで戻す。続いて発表の米10月鉱工業生産は予想程悪化しなかったものの、前回分が下方修正されドル円は一旦上値を抑えられるが、低下していた米金利が上昇する展開を受け155.75までサポートされる。しかし10年債金利が4.5%まで戻すと、このレベルでは債券買い意欲があり、米金利が低下に転じる展開に、ドル円も上値を抑えられ153.86まで反落する。終盤に掛けては、週末を控えた調整に徐々に値を戻し154.17レベルでクロスした。NY市場のユー・ドルは、1.0577レベルでNYオープン。朝方は一連の米経済指標発表を前に1.0593まで戻すが、予想を上回る米経済指結果を受け米金利が上昇する展開に、ユー・ドルは1.0524まで反落する。その後一旦1.0560まで戻す局面もあったものの、週末を控えた調整にドルが買い戻される展開に、ユー・ドルは1.0517まで反落し、1.0541レベルでクロスした。

【昨日の指標等】									結果	予想
Date	Time		Event							
11月15日	08:50	日	GDP(年率/季調済/前期比)・速報	3Q					0.9%	0.7%
	08:50	日	GDPデフレーター(前年比)・速報	3Q					2.5%	2.7%
	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	10月					5.3%	5.6%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	10月					4.8%	3.8%
	16:00	英	鉱工業生産(前年比)	9月					-1.8%	-1.1%
	16:00	英	製造業生産(前年比)	9月					-0.7%	0.0%
	16:00	英	GDP(前年比)・速報	3Q P					1.0%	1.0%
	16:00	英	個人消費(前期比)・速報	3Q P					0.5%	0.2%
	16:45	仏	CPI(前年比)・確報	10月					1.2%	1.2%
	22:30	米	NY連銀製造業景気指数	11月					31.2	0
	22:30	米	小売売上高速報(前月比)	10月					0.4%	0.3%
	22:30	米	小売売上高(除自動車/前月比)	10月					0.1%	0.3%
	23:15	米	鉱工業生産(前月比)	10月					-0.3%	-0.4%
【本日の予定】									予想	前回
Date	Time		Event							
11月18日	10:00	日	植田日銀総裁 講演			-			-	-



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.50-155.50	1.0450-1.0600	161.50-163.50

【マーケット・インプレッション】

先週末海外時間におけるドル/円相場は、156円台半ば付近から一時154円割れまで下落するなど反落した。欧州時間はドル/円の下落に拍車がかかり156円を割り込み155円台半ば付近まで下落した。NY時間に入ると米経済指標の堅調な結果などを受けて155円台後半にて一時下げ渋る場面も見られたが、後半に米金利・米株共に下落する局面ではドル/円も再び下落基調となり一時153円台後半まで下値を拡大した。終盤は154円台前半まで戻してクローズした。本日もドル/円相場は弱含む相場展開を予想する。先週末は米利下げの先送りや本邦の利上げ観測などが見られ、日米金利差の縮小を意識したドル/円の下落に拍車がかかった。米国ではパウエルFRB議長より利下げを急がない旨示唆する発言も見られており、先週初に見られたようなドル買い相場は一旦後退しドルが弱含む相場展開を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。